



平成23年2月期 第1四半期決算短信

平成22年7月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 Olympic

コード番号 8289 URL <http://www.olympic-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金澤 良樹

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 脩

四半期報告書提出予定日 平成22年7月15日

TEL 042-300-7200

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第1四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	25,782	△6.8	226	△2.9	220	0.8	110	146.6
22年2月期第1四半期	27,677	—	232	—	218	—	44	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	4.75	—
22年2月期第1四半期	1.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第1四半期	67,215	27,552	41.0	1,179.92
22年2月期	66,130	27,891	42.2	1,194.44

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 27,552百万円 22年2月期 27,891百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	—	—	18.00	18.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	54,000	△1.5	550	20.1	500	10.1	250	204.9	10.71
通期	108,000	0.7	1,100	256.0	1,000	204.9	500	320.2	21.41

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年2月期第1四半期	23,354,223株	22年2月期	23,354,223株
② 期末自己株式数	23年2月期第1四半期	3,105株	22年2月期	3,017株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	23年2月期第1四半期	23,351,150株	22年2月期第1四半期	23,351,626株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページの「定性的情報・財務諸表等」3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成22年3月1日～平成22年5月31日）におけるわが国経済は、企業の業績については回復基調にあるものの、ギリシャ危機による欧州の金融市場の混乱により、株式相場や為替相場が安定せず個人所得や雇用環境等の改善は進みませんでした。また、小売業にとりましては、将来への不安により節約志向が高まるなど、消費意欲が好転する兆しが見えないまま、当社を取り巻く環境は一層厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは営業力強化のため、地域特性や店舗規模に即した店舗の標準化を進めてまいりました。

この一環といたしまして、3月に東川口店（埼玉県川口市）、4月に東戸塚店（神奈川県横浜市）と、ハイパーマーケットの大規模改装を実施し、店舗内にあるペットショップ「ペティア」や、サイクルショップ「サイクル・オリンピック」などの専門商品群を拡充した店舗展開を推進いたしました。

また、食品部門におきましても、スーパーマーケットとして西尾久店（東京都荒川区）を新規出店するなど、業容の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益（売上高に営業収入を加えたもの）は257億82百万円（前年同期比6.8%減）、営業利益は2億26百万円（前年同期比2.9%減）、経常利益は2億20百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

また、改装等に伴い固定資産除却損を特別損失として計上いたしましたことにより、四半期純利益は1億10百万円（前年同期比146.6%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10億84百万円増加し、672億15百万円となりました。この主な要因は、商品が10億56百万円増加したこと等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ14億24百万円増加し、396億62百万円となりました。この主な要因は、買掛金が19億94百万円増加したこと、短期借入金が3億91百万円減少したこと及びその他流動負債が1億62百万円減少したこと等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億39百万円減少し、275億52百万円となりました。これは、配当等により利益剰余金が3億9百万円減少したことが主な要因であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、第2四半期以降においても、デフレ状況の中、経営環境は厳しく推移することが予想されます。

今後も、商品管理の徹底による売価見直しやロスの削減を継続し、粗利益率を維持するとともに、経費につきましても引き続き効率的な活用により削減してまいります。

連結業績見通しにつきましては、平成22年4月13日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値とは大きく異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

（たな卸資産の評価方法）

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価格を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,782	2,960
受取手形及び売掛金	504	427
商品	11,434	10,377
その他	2,193	1,839
貸倒引当金	—	△0
流動資産合計	16,915	15,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,410	11,395
土地	10,526	10,526
その他(純額)	1,499	1,425
有形固定資産合計	23,436	23,347
無形固定資産		
投資その他の資産	1,725	1,748
敷金及び保証金	21,913	22,297
その他	3,224	3,131
投資その他の資産合計	25,137	25,428
固定資産合計	50,299	50,524
資産合計	67,215	66,130
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,931	8,937
短期借入金	21,673	22,064
未払法人税等	44	113
賞与引当金	543	300
その他	2,448	2,611
流動負債合計	35,642	34,026
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	1,688	1,765
退職給付引当金	62	62
転貸損失引当金	57	60
その他	1,711	1,823
固定負債合計	4,020	4,211
負債合計	39,662	38,238

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,946	9,946
資本剰余金	9,829	9,829
利益剰余金	7,738	8,047
自己株式	△3	△3
株主資本合計	27,511	27,820
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	41	70
評価・換算差額等合計	41	70
少数株主持分	0	0
純資産合計	27,552	27,891
負債純資産合計	67,215	66,130

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	26,369	24,843
売上原価	18,862	17,165
売上総利益	7,506	7,678
営業収入	1,308	938
営業総利益	8,814	8,617
販売費及び一般管理費	8,582	8,391
営業利益	232	226
営業外収益		
受取利息	18	19
受取配当金	1	1
債務受入益	30	40
その他	16	9
営業外収益合計	67	71
営業外費用		
支払利息	80	75
その他	0	1
営業外費用合計	81	77
経常利益	218	220
特別損失		
固定資産除却損	94	40
その他	—	7
特別損失合計	94	48
税金等調整前四半期純利益	123	171
法人税、住民税及び事業税	61	30
法人税等調整額	17	30
法人税等合計	78	60
少数株主損失(△)	△0	△0
四半期純利益	44	110

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

販売実績

業態別売上高

当第1四半期連結累計期間の販売実績を業態別に示すと、次のとおりであります。

業態種類の名称	売上高 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
ハイパーマーケット	16,205	65.2	92.8
ハイパーストア	2,474	10.0	101.6
スーパーマーケット	2,304	9.3	104.2
ホームセンター	3,308	13.3	89.9
その他	549	2.2	96.4
合計	24,843	100.0	94.2

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当社グループは、ハイパーマーケット、ハイパーストア、スーパーマーケット、及びホームセンターの4業態によるチェーンストアが核となっており、小売事業を営む各子会社の売上高は、それぞれ出店している店舗の業態の売上高に含めております。